

平成28年度 自己点検・評価書

平成29年3月

佐賀大学
保健管理センター

I 日常業務である保健管理センター活動について

平成28年度における保健管理センターの日常業務に関して、その活動報告および自己評価を行う。

I. 平成28年度学生の健康管理実施状況

1. 学生健康診断他活動状況

本庄地区では、健康診断として、新入生健康診断、在學生健康診断、留学生健康診断、スポーツ健康診断、R I 健康診断、感染対策として、小児感染症抗体検査、メンタルヘルスとして、通常カウンセリングおよびスクリーニング、その他として、禁煙サポート、肥満学生支援、ブルガタ精査、健康診断証明書発行などの業務があります。

鍋島地区では、健康診断として、在學生健康診断、大学院生健康診断、R I 健康診断、感染対策として、小児感染症対策（新入生）、B型肝炎ワクチン接種、ツベルクリン反抗検査、インフルエンザワクチン接種、メンタルサポートとして、カウンセラー面談、その他として健康診断証明書発行などの業務があります。

<本庄キャンパス>

1. 定期健康診断

新入生 1,164 名中 1,162 名（99.8%）が定期健康診断を受けた。在學生の2年生は 1,188 名中 891 名（75.0%）、3年生は 1,250 名中 1,032 名（82.6%）、4年生は 1,523 名中 1,141 名（74.9%）、大学院生は 689 名中 551 名（80.0%、研究生などは 145 名中 113 名（77.9%）であり、総計 5,959 名中 4,890 名（82.1%）であった。

平成27年度は 83.4%、本年度は 82.1%であり、受診率は変化なく、維持している。

2-1, 2-2, 2-3 健康診断結果（各検査所見）

現症または所見のある者の中で、頻度の高い疾患および状態像は、やせ（BMI 18 未満）が 415 名、肥満（BMI 30 以上）が 112 名、アレルギー疾患が 178 名、呼吸器疾患 99 名、循環器疾患 96 名の順であった。胸部X線要精密者が 13 名（気胸、1名の結核）、などであった。心電図検査は、370 名に行い、有所見者は 121 名（32.7%）であった。その結果では、心室性期外収縮が 6 名、ST-S 以上が 5 名、などがみられた。入学時の心電図異常所見者は、継続的に経過観察している。心電図の経過観察者は、本庄地区では 229 名であった。

2-4 留学生特別健康診断

留学生健診は、春と秋（秋入学者対象）に実施している。血液検査では、高脂血症の学生が多く（44名）、次に貧血（13名）であった。血液検査結果は、個別指導を行い、春健診で異常がみられた学生は、秋にもフォローアップしている。

前期及び後期で血液検査に認められる異常所見は、高脂血症、B型肝炎ウィルス陽性、肝機能障害、高尿酸血症、貧血などであった。

3. メンタルヘルス対策

留学生健診は、春と秋（秋入学者対象）に実施している。血液検査では、高脂血症の学生が多く（44名）、次に貧血（13名）であった。血液検査結果は、個別指導を行い、春健診で異常がみられた学生は、秋にもフォローアップしている。

前期及び後期で血液検査に認められる異常所見は、高脂血症、B型肝炎ウィルス陽性、肝機能障害、高尿酸血症、貧血などであった。

4 感染症対策

本庄地区では、麻疹抗体検査を行っている。対象者数は299名で、受診者は283であった。ワクチン接種対象者は31名であった。この結果は昨年と同様であった。

5 健康診断証明書発行状況

自動発行機による部数は前年とほぼ同じであり、2,030通であった。保健管理センターにおける発行件数は、599通であった。発行の最も多い月は、2月から3月である。

6 保健管理センター利用状況（本庄地区）

保健管理センターの利用件数は6,861件（学生5,628件・職員1,233件）であった。メンタルヘルスの件数がやや減少しているのは、佐賀大学近辺に心療内科が開業され、そこに紹介する頻度が増加した背景がある。血压測定や身体計測の頻度がやや減少していたが、これは今後、もっと保健管理センターを気軽に利用してくださいと勧奨していきたい。

しかし、6,861件という利用件数は、本大学（本庄地区）の保健管理センターが学生および職員の保健管理および治療において十分な役割を果たしていると考えられる。

<鍋島キャンパス>

【学生現状分析】

1. 定期健康診断

新入生 166名中166名（100.0%）が定期健康診断を受けた。在学生は908名中886名（97.0%）、大学院生201名中52名（25.9%）が受診した。

2 新入生健康診断

新入生における現症または所見のある者の中で、頻度の高い疾患および状態像は、BMI 18未満のやせが50名、医学部は血液検査を実施しているため肝機能異常を含む代謝・内分泌の血液検査異常が32名、気管支喘息などの呼吸器疾患が23名であった。

3. ワクチン接種状況

H28年度より入学時に小児感染症4項目の血液検査結果を提出することとした。その結果でムンプス・麻疹・風疹・水痘などの佐賀大学医学部の基準に満たない学生に対し、入学後にワクチン接種を実施した。小児感染症については、延べ162名がワクチン接種対象となった。B型肝炎ワクチンは、医学科4年97名、医学科1年104人、看護学科59人、計260名が接種を受け、236名が陽転した。陽転しなかった学生については、12月・1月に追加接種を行い、2月中旬までに確認検査を行う。

インフルエンザワクチン接種は、11月～12月に実習学生医学科5・看護学科3年、および国家試験を受ける学年医学科6年・看護学科4年、勸奨学年医学科2.4年生を中心とした529名に接種した。

4. 学生健康相談（メンタルヘルス支援）

新入生については、これまで同様に入学時健康診断のスクリーニング調査結果で、ポイントの高い学生20名に連絡し、14名に面談を実施した。H23年度から、医学科4、医学科2年、看護学科3年を対象に全員スクリーニング面接を実施している。

看護学科は、2年生1名、1年生1名が進路再考のため退学。医学科の場合、現時点で4年生1名が自主退学予定。医学科6年生の2名が卒業試験を中断し、休学した。

過年度学生の対応が難しい学生が多く、医学部精神神経科学校医の協力を得て、対応している。留年を繰り返す学生には、精神面・学業面での支援は不可欠で、精神科医、副センター長、カウンセラーと学生課、チューター、および保護者との連携を行った。

5. 健康診断証明書発行状況

4月～12月までに78通の健康診断証明書の自動発行利用があった。医学部の場合は、免疫の記録（小児感染症・B型肝炎ワクチン接種）と国家試験免許申請に関する診断書発行が1～3月に多く、保健管理センターでの12月までの診断書発行は98件であった。

6. 保健管理センター利用状況

H28年度の12月末までの保健管理センターの利用件数は6414件（学生3203件・職員3211件）であった。今年度は、学生のB型肝炎ワクチン接種が新入生ワクチン接種の移行期で新入生と医学科4年生に行うため、利用者は増加した。

Ⅱ. 平成28年度教職員の健康管理実施状況

<本庄事業場>

1. 平成28年度安全衛生活動状況（本庄地区）

本庄地区では、労働安全衛生管理活動状況として、職場環境の整備（作業環境管理・職場の巡視・5S活動・快適職場づくり）、マニュアル等の整備（安全衛生管理マニュアルの作成・MSDSの整備）、健康保持増進対策（健康診断・有所見者に対する事後措置）・メンタルヘルス対策・受動喫煙防止対策）、安全衛生教育（安全衛生教育・能力向上教育・衛生管理者等資格者の確保）の活動がなされている。

2. 定期健康診断：

雇用時健康診断、一般定期健康診断、特定業務従事者健康診断、他機関受診者を併せると、935名が健診を受けていた。その中で、有所見数は536名（57.3%）であった。

3. メンタルヘルス対策

（1）健康相談調査（メンタルスクリーニング）

本庄地区では、全教職員に「勤労者の疲労蓄積度自己診断チェックリスト」でスクリーニングを行った。

さらに、大学院工学系研究科教職員には「中災防ウェルネスチェックシート」でのスクリーニングを行った。対象者938名中849名からの回答を得て（回収率90.5%）、要配慮者は163名（19.2%）であった。

（2）カウンセリング状況（本庄地区）

カウンセリング体制は、産業医2名、産業カウンセラー（非常勤）1名、ナース2名である。新規相談の実数は、59名、延べ面談数は、211名であった。相談の内訳は、精神衛生が28名、人間関係が3名、身体健康が11名などであった。

4. 復職支援実施状況（本庄地区）

佐賀大学では、病気（メンタルヘルスの不調者を含む）やけがなどが原因で心身の健康を害し、休職している教職員（休職しようとする方を含む）に、段階（0～4段階）ごとに産業医等の支援の下に実施している。第0段階（発症時の支援）、第1段階（療養開始・療養中の支援）、第2段階（復職復帰準備期の支援）、第3段階（職場復帰時の支援）、第4段階（職場復帰後の支援）である。

本年度の復職支援は、メンタル以外は1件（延べ1回）、メンタルは3名（延べ38回）であり、復職判定会議は、計1回施行された。その結果、5名中4名が復職した。

5. 労働災害報告（本庄地区）

平成 28 年 4 月から平成 28 年 12 月までで、本庄地区は 11 件であった。

<鍋島事業場>

1. 健康診断

職員健診は、附属病院ということもあり、定期健康診断の 100%受診を労基署より指導をされているが、今年度は 2 名が未受診となった。要精密検査の未提出が多いが、職員健康診断を機に疾患が判明する場合も数件認め、今後も精密検査の勧奨を積極的に行う予定である。

2. 感染症対策

職員の感染症対策については、総務課・附属病院感染制御部と協力し企画・実施した。

ムンプス・麻疹・風疹・水痘などの小児感染症については、雇用時に全員対象に行い、抗体が不足している職員述べ 151 名に追加接種を行った。

B 型肝炎対策は、152 名にワクチン接種を行った。

インフルエンザは、全職員を対象に実施した。委託職員なども含め 1788 名にワクチン接種を行った。

3. メンタルヘルス対策

鍋島職員には、採用時・異動時のスクリーニングに加え、健康診断時に中災防ウエルネスチェックを行った。職員のメンタルヘルス対策として平成 27 年度 12 月からストレスチェック制度が法律で義務となったが、医学部ではこれまでの体制で継続実施し、1727 人が回答、54 人に面談を行った。内 5 名がカウンセリング継続となった。

H28 年度も、新人看護師 51 名の面談を産業カウンセラー 2 名体制（1 名は週 4 時間）で実施。1 回目を 6 月に、2 回目を 1 月から 2 月に実施した。新人看護師の年度途中の退職は 1 名、復職中 1 名であった。今年度は、緊急支援を要するケースはなかったものの、以前の問題が続いて調子を崩す職員が数名認められた。そのため、職員本人だけでなく上司から相談、カウンセリングから精神神経科受診につながるケースを数件認めた。今後もより迅速な緊急支援を実施する体制作りは必要である。

大学職員の場合、異動は避けられないものであり、適応障害となる事例も認める。異動時の職務に関する教育・指導・配慮は職員の業務だけでなくメンタルヘルスにも影響するため、管理職の果たす役割は大きい。そのため安全管理担当・安全衛生スタッフと協力し、管理職研修を実施するなど、よりよい職場環境となるよう取り組んでいる。

Ⅱ 教育に関する状況と自己評価

保健管理センターの教員3名はそれぞれ講義および大学院生をもち、教育においても大学において貢献している。その具体的な内容を以下に示す。

<本庄キャンパス>

本庄キャンパスに勤務する佐藤と木道については以下の通りである。

1. 講義

講義

木道圭子（学内）：

健康科学 A・後期 1年生全学部

トレーニング理論・実習（池上寿伸・木道圭子）：1年生前学期

佐藤 武（学内）：

健康科学 A・前期 1年生全学部

理工学部（機能物質科学）フレッシュマンセミナー

医学部・精神医学（コンサルテーション・リエゾン精神医学）

農学部 「メンタルヘルス」

医学部医科学専攻・修士課程・精神心理学特論「Physical Health」「Mental Health」

佐藤 武（学外）：

放送大学（専門科目：心理と教育 | こころアレルギー）

日本赤十字九州国際看護大学（統合失調症と妄想性障害、気分感情障害、人格障害・薬物依存・てんかん、脳機能と薬物療法）

2. 大学生・大学院生等指導

大学院医学系研究科博士課程医科学専攻4年生 中村志織

大学院医学系研究科修士課程医科学専攻1年生 横山光代

大学院医学系研究科博士課程医科学専攻1年生 竹岸智子（平成29年度より入学、平成28年12月に開催された入学試験合格）

<鍋島キャンパス>

講義等

尾崎岩太. 佐賀県における C 型肝炎治療の肝癌予防効果. 佐賀ソブリアード発売記念講演会 創世 (佐賀市) 2014. 1. 24.

尾崎岩太. 病院で働き始める前に. 佐賀大学医学部附属病院看護師オリエンテーション. 2014.4.9 佐賀大学医学部附属病院 (佐賀市)

尾崎岩太. 肝炎公費助成制度の現状. 佐賀県肝癌対策医会 マリトピア (佐賀市) 2014. 7. 31

尾崎岩太. 学校における疾病予防と保健管理. 平成 25 年度教員免許更新講習会. 2015. 8. 29 佐賀大学医学部 (佐賀市)

尾崎岩太. 佐賀県におけるウイルス肝炎の現況-検診から治療へ-. 第 108 回佐賀肝臓懇話会 マリトピア (佐賀市) 2014. 8. 29

尾崎岩太. 佐賀の肝がん: C型肝炎ウイルスからみた現在・過去・未来. 佐賀市本庄公民館生活・教養セミナー 4 本庄公民館 (佐賀市) 2014. 9. 25

尾崎岩太. B 型 C 型肝炎の最新治療. 平成 26 年度鳥栖市健康大学 鳥栖市保健センター (鳥栖市) 2014. 9. 25

尾崎岩太. 佐賀県の肝疾患の現状. 平成 25 年度佐賀県地域肝炎コーディネーター養成研修会 2014.10.4-5 佐賀大学医学部 (佐賀市)

尾崎岩太. 佐賀県の肝疾患の現状. 平成 25 年度佐賀県地域肝炎コーディネーター養成講座 e-learning. 2014.11.5, 2014.12.10 佐賀大学医学部 (佐賀市)

大学院生等受け入れ指導

佐賀大学医学部博士研究員 夏 京合

社会人大学院医学系研究科博士課程医科学専攻 3 年 桑代卓也

Ⅲ 研究に関する状況と自己評価

研究に関しては、本来の業務に追われて、十分な研究が行われているとはいえないものの、研究報告および学会報告は、ある程度の業績を提出していると自負している。以下に、研究報告および学会報告の内容を提示する。

<本庄キャンパス>

〔著書・総説〕

1. Nagamatsu M, Hamada Y, Sato T: Adolescent health and development, public health response and the program in Japan. International handbook on adolescent health and development. Springer Publishing Company: New York, pp.45-67, 2016.

〔研究・症例報告〕

1. Yasuko Fuse-Nagase, Jun Miura, Ikuro Namura, Takeshi Sato, Katsuhiko Yasumi, Toshiyuki, Marutani, Yoshiro: Decline in the severity or the incidence of schizophrenia in Japan: A survey of university students. Asian J Psychiatry 24: 120-123, 2016.
2. 布施泰子、三浦淳、平井伸英、苗村育郎、佐藤武：大学における休・退学、留年学生に関する調査第36報（平成25年度分の集計結果から）。第37回全国大学メンタルヘルス研究会報告書, pp.7-16, 2016.
3. 丸谷 俊之、安宅 勝弘、齋藤 憲司、高山 潤也、佐藤 武、杉田 義郎、苗村 育郎：大学院における休学・退学・留年学生に関する調査ー平成25年度調査結果を中心にー。第37回全国大学メンタルヘルス研究会報告書, pp.17-25, 2016.
4. 渡辺慶一郎、苗村育郎、布施泰子、金子稔、大島紀人、島田隆史、川瀬英理、佐々木 司、杉田義郎、佐藤 武、守山敏樹、大島亜希子：大学生を対象にした発達障害に関する質問紙調査の解析。第37回全国大学メンタルヘルス研究会報告書, pp.76-85, 2016.
5. 中村志織、佐藤 武：佐賀大学保健管理センターにおける陶芸療法によるメンタル支援。第37回全国大学メンタルヘルス研究会報告書, pp.86-92, 2016.
6. 布施泰子、三浦淳、平井伸英、苗村育郎、佐藤武：大学における休・退学、留年学生に関する調査第36報（平成25年度分の集計結果から）。CAMPUS HEALTH 53:157-162, 2016.
7. 丸谷 俊之、安宅 勝弘、齋藤 憲司、高山 潤也、佐藤 武、杉田 義郎、苗村 育郎：全国国立大学大学院学生の休学・退学・留年・死亡の状況について・平成25年度調査から。CAMPUS HEALTH 53:163-168, 2016.

8. 丸谷 俊之、安宅 勝弘、齋藤 憲司、高山 潤也、佐藤 武、杉田 義郎、苗村 育郎：全国国立大学大学院学生の休学・退学・留年・死亡の 状況について・平成 25 年度調査から. CAMPUS HEALTH 53:163-168, 2016.
9. 布施泰子, 梶谷康介, 平井伸英, 苗村育郎, 佐藤武：大学における休・退学、留年学生に関する調査 第 3 7 報—平成 2 6 年度分集計結果から—. CAMPUS HEALTH (in press)
10. 丸谷俊之, 安宅勝弘, 齋藤憲司, 高山潤也, 佐藤武, 杉田義郎, 苗村育郎：大学院における休学・退学・留年学生に関する調査—第 13 報（平成 26 年度集計結果）—. 第 3 8 回全国大学メンタルヘルス学会報告書 (in press)
11. 丸谷 俊之、安宅 勝弘、齋藤 憲司、高山 潤也、佐藤 武、杉田 義郎、苗村 育郎全国国立大学大学院学生の病死, 事故死の状況について—13 年間の調査より—. CAMPUS HEALTH (in press)
12. 布施泰子, 梶谷康介, 平井伸英, 苗村育郎, 佐藤武：大学における休・退学、留年学生に関する調査 第 3 7 報—平成 2 6 年度分集計結果から—. 第 3 8 回全国大学メンタルヘルス学会報告書 (in press)
13. 中村志織、佐藤 武、横山光代：陶芸療法が自律神経機能へ及ぼす影響について - 佐賀大学保健管理センターの事例から—. 第 3 8 回全国大学メンタルヘルス学会報告書 (in press)
14. 佐藤 武、木道圭子：日本人大学生の留学中におけるメンタルヘルスについて - 佐賀大学における現状と対策 - . CAMPUS HEALTH (in press)

〔学会参加・報告〕

1. 尾崎岩太、安田郁、古川早苗、武富弥栄子、小川康子、福島雅子、木道圭子、佐藤武、市場正良：職業性ストレス簡易調査からみた大学医学部職員の退職に關与する因子の検討 第 54 回全国大学保健管理研究集会 平成 28 年 10 月 5 日～6 日 大阪国際会議場
2. 佐藤 武：九州地方部会代表世話人の挨拶. 第 46 回九州地区大学保健管理研究協議会（宮崎大学 主催）、平成 28 年 8 月 25 日—26 日、宮崎.
3. 佐藤 武：一般演題 I 座長. 第 46 回九州地区大学保健管理研究協議会（宮崎大学 主催）、平成 28 年 8 月 25 日、宮崎.
4. 丸谷俊之, 安宅勝弘, 齋藤憲司, 高山潤也, 佐藤武, 杉田義郎, 苗村育郎：大学院における休学・退学・留年学生に関する調査—第 13 報（平成 26 年度集計結果）—. 第 3 8 回全国大学メンタルヘルス学会、平成 28 年 12 月 9 日—11 日、東京.
5. 布施泰子, 梶谷康介, 平井伸英, 苗村育郎, 佐藤武：大学における休・退学、留年学生に関する調査 第 3 7 報—平成 2 6 年度分集計結果から—. 第 3 8 回全国大学メンタルヘルス学会、平成 28 年 12 月 9 日—11 日、東京.
6. 中村志織、佐藤 武、横山光代：陶芸療法が自律神経機能へ及ぼす影響について - 佐賀

大学保健管理センターの事例からー. 第38回全国大学メンタルヘルス学会、平成28年12月9日ー11日、東京.

<鍋島キャンパス>

[著書]

特になし

原著論文

Kamachi S, Mizuta T, Otsuka T, Nakashita S, Ide Y, Miyoshi A, Kitahara K, Eguchi Y, Ozaki I, Anzai K. Sarcopenia is a risk factor for the recurrence of hepatocellular carcinoma after curative treatment. *Hepatology Res.* 2016 Feb;46(2):201-8. doi:10.1111/hepr.12562. PMID:26223826

Furukawa NE, Yamashita SI, Maeyama K, Oeda S, Iwane S, Hirai K, Ozaki I, Eguchi Y. Clinical course of hepatitis B surface antigen-positive subjects following screening: A retrospective observational study from April 2008 to January 2013. *Hepatology Res.* 2016 Jun;46(7):678-85. doi: 10.1111/hepr.12608. PMID:26492344

Nishida Y, Ide Y, Okada M, Otsuka T, Eguchi Y, Ozaki I, Tanaka K, Mizuta T. Effects of home-based exercise and branched-chain amino acids administration on the aerobic capacity and glycemic control in patients with cirrhosis. *Hepatology Res.* 2016 May 24. doi: 10.1111/hepr.12748. [Epub ahead of print]

学会発表

Takuya Kuwashiro, Iwata Ozaki, Shinji Iwane, Sachiko Matsuhashi, Hiroshi Isoda, Futa Koga, Taiga Otsuka, Yuichiro, Eguchi, Keizo Anzai. Extracellular matrices impair the IFN- α signaling via the β 1-integrin-mediated signaling. The 25th Annual Conference of APASL, February 20-24, 2016, Tokyo (Japan). *Hepatology Int* (2016) 10 (Suppl 1) :S108, P0010.

郭婧 Guo Jing, 尾崎岩太, 夏京合, 桑代卓也, 小島基靖, 江口有一郎, 安西慶三, 松橋幸子. 腫瘍抑制遺伝子 PDCD4 による肝癌細胞の細胞周期と apoptosis の調節. 第52回日本肝臓学会総会 2016. 5. 19-20. 千葉市 肝臓 2016; 57: Suppl(1) A245, 0-176.

尾崎岩太, 安田郁, 古川早苗, 武富弥栄子, 小川康子, 福島雅子, 木道圭子, 佐藤武, 市場正良. 職業性ストレス簡易調査からみた大学医学部職員の退職に関与する因子の検討.

第 54 回全国大学保健管理研究集会 2016. 10. 5-6. 大阪市 Campus Health プログラム・抄録集 p74, C2-1.

夏京合, 尾崎岩太, Jing Guo, Md. Manirujjaman, 田中賢一 小島基靖 桑代卓也 江口有一郎 安西慶三 松橋幸子. 肝癌細胞において BCAA は PKC s を介して YAP を抑制する 第 39 回日本分子生物学会年会 2016.11.30-12.2. 横浜市

Matsuhashi S, Manirujjaman Md, Xia J, GuoJ, Kojima M, Tanaka K, Takahashi H, Nishioka K, Anzai K, Ozaki I. Control mechanisms of a tumor suppressor PDCD4; Degradation of the protein is controlled in both systems of proteasome and autophagy 第 39 回日本分子生物学会年会 2016.11.30-12.2. 横浜市

武富弥栄子, 尾崎岩太, 古川早苗, 小川康子, 福島雅子, 木道圭子, 佐藤 武 佐賀大学 B 型肝炎対策 11 年間のワクチン接種から～現状と課題～ 第 46 回九州地区大学保健管理研究協議会 2016. 8. 24-26. 宮崎市

IV 国際交流及び社会連携・貢献に関する状況と自己評価

保健管理センターでは、地域の方々から、講演を依頼されることが多々ある。時間の許す範囲で、できるだけ、フィジカルおよびメンタルに関する社会連携・貢献を果たしている。その内容は以下に列記する。

<本庄キャンパス（佐藤・木道）>

〔新聞執筆〕

1. 佐藤 武：診察室から「ネットオークション 「買い物依存症」に注意を：平成 28 年 2 月 27 日号。
2. 佐藤 武：診察室から「なぜ、うつ病は増え続けるのか？」。佐賀新聞：平成 28 年 4 月 2 日号。
3. 佐藤 武：診察室から「瞬間を楽しみ、生きる 「日本人はあれこれ考えすぎ！」 佐賀新聞：平成 28 年 5 月 7 日号。
4. 佐藤 武：診察室から「性格傾向と身体疾患 三つのタイプとは？」佐賀新聞：平成 28 年 6 月 11 日号。
5. 佐藤 武：診察室から「敏感過ぎる人「HSP」 弱点ではなく、才能かも！？」佐賀新聞：平成 28 年 7 月 14 日号。
6. 佐藤 武：診察室から「熱中症にご用心 お年寄りには要注意」佐賀新聞：平成 28 年

8月13日号。

7. 佐藤 武：診察室から「産業医のジレンマ 守秘義務が連携阻む」佐賀新聞：平成28年9月17日号。
8. 佐藤 武：診察室から「黒ニンニク」の効用 免疫力を高める効果」佐賀新聞：平成28年10月22日号。
9. 佐藤 武：診察室から「うつからの脱却法 まずは「捨てる」こと」佐賀新聞：平成28年11月19日号。
10. 佐藤 武：診察室から「うつは「笑えない」病 脳機能、一時的に低下」佐賀新聞：平成28年12月24日。
11. 佐藤 武：診察室から「日本人大学生の留学 - ケアとリスク管理不可欠 - 」佐賀新聞：平成29年1月28日。

〔新聞掲載〕

1. 佐藤 武：悩める大学生増加中。朝日新聞：平成28年6月4日。
2. 佐藤 武：うつ病と生きる－闘病体験から得られた『今を生きる』とは？みんなの掲示版「放送大学佐賀学習センター・オープンキャンパス」。佐賀新聞：平成28年6月22日。
3. 佐藤 武：公開講座で授業体験 オープンキャンパスに50人 放送大学。佐賀新聞：平成28年7月8日。
4. 佐藤 武：被害者支援活動警察有志が賛助 佐賀ボイスに73万円。佐賀新聞：平成28年10月19日。
5. 中村志織、佐藤 武：陶芸療法で心ほぐす - 悩む学生の居場所。佐賀新聞：平成28年10月29日。
6. 佐藤 武：犯罪被害者支援条例を 佐賀ボイス、県に制定要望。佐賀新聞：平成28年12月9日。

〔講演〕

1. 吉田和代、木道圭子：救命救急講習会（教職員、学生、一般市民対象）平成28年12月5日 佐賀大学本庄キャンパススポーツセンター、佐賀。
2. 佐藤 武：新入生のメンタルヘルス予防。佐賀大学農学部、佐賀大学、平成28年4月25日。佐賀。
3. 佐藤 武：中高年のメンタルヘルス。いのちの電話、平成28年4月11日、佐賀。
4. 佐藤 武：心電図の読み方とマラソン中の仕事。アミノバリューホノルルマラソン、平成28年4月17日、佐賀。
5. 佐藤 武：安全衛生について。平成28年度佐賀大学新任教員研修会、佐賀大学医学部、平成28年5月10日、佐賀。

6. 佐藤 武：大学生生活から有意義に過ごすには. 佐賀大学工学系研究科「フレッシュマンセミナー」、平成 28 年 5 月 25 日、佐賀.
7. 佐藤 武：職場におけるメンタルヘルス. 平成 28 年度佐賀大学採用職員研修講義、平成 28 年 6 月 2 日、佐賀.
8. 佐藤 武：うつ病と生きる - 闘病体験から得られた「今を生きるとは？」. 平成 28 年度放送大学オープンキャンパス. 放送大学佐賀学習センター、平成 28 年 7 月 2 日、佐賀.
9. 佐藤 武：障害者支援者のストレス. 全国児童指導員協議会九州支部および全国保育士協議会九州支部第 1 回研修会、肥前精神医療センター、平成 28 年 7 月 9 日、佐賀.
10. 佐藤 武：中高年のメンタルヘルス. いのちの電話、平成 28 年 7 月 27 日、7 月 30 日、佐賀.
11. 佐藤 武：職場におけるメンタルヘルス. 平成 28 年度佐賀大学職員係長ステップアップ研修、平成 28 年 9 月 29 日、佐賀.
12. 佐藤 武：職場におけるメンタルヘルス. 平成 28 年度佐賀県警 40 歳研修、佐賀県警、平成 28 年 9 月 29 日、佐賀.
13. 佐藤 武：メンタルヘルス. 佐賀県警察学校、平成 28 年 10 月 24 日、佐賀.
14. 佐藤 武：職場のメンタルヘルス. 佐賀県市町村係長研修、佐賀県教育センター、平成 28 年 11 月 8 日、11 月 15 日、佐賀.
15. 佐藤 武：うつ病. いのちの電話、アバンセ、平成 28 年 12 月 14 日、佐賀.

IV. 科学研究費補助金など

1. 渡邊慶一郎（東京大学学生相談ネットワーク本部）、佐藤 武：平成 29 年度科学研究費助成事業基盤研究 C「大学生の発達障害における自殺関連行動」研究代表者：渡邊慶一郎、研究分担者：佐藤 武（受理）
2. Hairu Azhjar Abdul Rashid, Takeshi Sato: A Model of Internet Use, Addiction and Job Productivity for ICT Knowledge among Workers in Malaysia. MULTIMEDIA UNIVERSITU, マレーシア政府科学研究費（受理）

<鍋島キャンパス（尾崎）>

講 演

尾崎岩太. 実習の安全管理：感染予防を中心に. 医学科 4 年 臨床入門. 2016. 1. 18

尾崎岩太 医学科 4 年 Unit10 臨床入門 漢方入門：内科領域の漢方治療 2016. 9. 2

尾崎岩太. 生活習慣と健康. インターフェイス科目：食と健康 III 運動と栄養. 2016.10.26

尾崎岩太. 佐賀県の肝炎ウイルス感染と肝炎治療の現況. 平成 27 年度第 2 回佐賀県肝臓対策医会 2016. 1. 29 マリトピア (佐賀市)

尾崎岩太. 佐賀県のウイルス肝炎の現況. 平成 27 年度佐賀県肝疾患対策委員会 2016. 3. 8 佐賀県庁 (佐賀市)

尾崎岩太. 透析患者における C 型肝炎治療. 透析患者の肝炎治療を考える会 2016. 5. 10 四季彩ホテル千代田館 (佐賀市)

尾崎岩太. HIV と肝炎ウイルス- 抗ウイルス薬の歴史- AIDS 文化フォーラム in 佐賀 2016. 6. 25-26 アバンセ (佐賀市)

尾崎岩太. 佐賀県の C 型肝炎 2016. Abbie 合同会社研修会 2016. 8. 16. ホテルニューオータニ佐賀 (佐賀市)

尾崎岩太. 佐賀県の肝疾患の現状. 平成 28 年度佐賀県地域肝炎コーディネーター養成研修会 2016. 11. 19-20 佐賀大学医学部 (佐賀市)

尾崎岩太. 佐賀県肝疾患の現状. 平成 28 年度佐賀県肝疾患対策委員会 2016. 12. 19 佐賀県庁 (佐賀市)

この領域も日々の多忙な業務の中、地域の要請にできるだけこたえるように努力し、その成果は得られていると思われる。

V. 組織運営・施設・その他部局の重要な取組に関する状況と自己

評価

佐賀大学における学内の各種委員会に積極的に参加し、学内の学生および教職員の問題点に保健管理センターとして、意見を述べている。さらに、全国および九州地区の保健管理センターの役職、佐賀県の役員などをこなし、社会貢献を行っている。

以下のその役職を提示する。

本庄キャンパス (佐藤)

[学内]

保健管理センター運営委員会（委員長）・労働安全衛生委員会（委員長）・産業医・統括安全衛生管理委員・学生モニター会議委員・入試委員会・学生委員会（オブザーバー）・大学教育委員会（オブザーバー）・教育室会議委員・医学部研究科委員会・本庄地区産業医・附属中学校保健委員・附属特別支援学校保健委員・施設協議会委員、学生支援室・健康支援部門（部門長）、附属園・小学校保健委員。

〔学外〕

国立大学保健管理施設協議会理事・全国大学保健管理協会理事・日本精神衛生学会理事・全国大学メンタルヘルス研究会運営委員・九州地区大学メンタルヘルス研究協議会運営委員・日本総合病院精神医学会評議員・日本サイコオンコロジー学会世話人・九州地区大学保健管理研究協議会評議員（代表世話人）・九州精神神経学会評議員・佐賀県自殺対策委員会委員、佐賀県いじめ問題対策委員会委員、佐賀県V I O S S 理事長、など。

査読委員：

「INFORMATION An International Interdisciplinary Journal」

「Asian-Information-Science-Life」

「精神神経学雑誌」「日本ペインクリニック学会誌」

「九州神経精神医学」

「CAMPUS HEALTH」

「こころの健康」

「Plos One」

「大学メンタルヘルス」（編集顧問）など。

本庄キャンパス（木道）：

〔学内〕

保健管理センター運営委員会（委員）、本庄地区労働安全衛生委員会（委員、産業医）、本庄地区産業医、ハラスメント相談員、学生支援室・集中支援部門（副部門長）

鍋島キャンパス（尾崎）

〔学内〕

佐賀大学安全衛生管理委員会・佐賀大学医学部安全衛生委員会・佐賀大学医学部教育委員会（オブザーバー）・佐賀大学動物実験委員会・佐賀大学医学部及び附属病院エコアクション21 委員会・佐賀大学医学部附属病院社会保険委員会・佐賀大学医学部附属病院感制御部会議・佐賀大学ハラスメント相談員・佐賀大学鍋島事業場産業医

〔学外〕

佐賀県肝疾患対策委員会（委員長）
佐賀県肝炎治療助成費認定協議会
佐賀県国民健康保険診療報酬審査委員会

Peer Review

International Journal of Cancer
Hepatology Research
Cancer Cell International
Oncogenesis
Nutrition Research

この領域においても、各種委員会に可能な限り出席しており、十分な役割を果たしているといえる。

佐賀大学保健管理センター外部評価 評価調査票
 (平成28年度実績に対する評価)

委員名：向井 常博

項番	評価項目	評価	評価についてのコメント
1	学生支援の領域	<input checked="" type="checkbox"/> 十分良い <input type="checkbox"/> おおむね良い <input type="checkbox"/> やや悪い <input type="checkbox"/> 不十分	定期健康診断はじめ、検査所見のデータ整理、ならびにそのフォロー、特にメンタル対策、感染症対策など多岐にわたる健康管理業務を効率よく進めている。受診率も高く維持されている。特にメンタルヘルス対策はきめ細かく対応している。検診結果により、肥満もだが、やせのフォローもお願いしたい。やせの問題は低出生体重児出産のリスクが高いと厚労省も指摘している(健康日本21(二次))。
2	教職員支援の領域	<input checked="" type="checkbox"/> 十分良い <input type="checkbox"/> おおむね良い <input type="checkbox"/> やや悪い <input type="checkbox"/> 不十分	定期健康診断受診率がほぼ100%に近い。またメンタルヘルスに関しては復職支援も含めてきめ細かく対応されている。鍋島地区は、ワクチン接種など感染症対策はしっかり行われている。しかしながら、両地区とも精密検査の受診率は必ずしも十分ではない。禁煙に関しては、平成31年4月より全面禁煙が導入されるとのこと。禁煙導入後のフォローに万全を期して欲しい。
3	教育の領域	<input checked="" type="checkbox"/> 十分良い <input type="checkbox"/> おおむね良い <input type="checkbox"/> やや悪い <input type="checkbox"/> 不十分	センターの教員は、健康科学についての講義科目を受け持っている。禁煙や生活習慣と健康、感染予防などについて講義している。大学院学生も受け持っている。院生教は本庄で2名、鍋島で3名である。十分な教育貢献である。なお、教職員支援の領域でも述べたが、健診の受診率が高いがその後の精密検査の受診率が低い。教育講演を通して健康に関する意識を高め改善に結びつけて欲しい。

4	研究の領域	<input checked="" type="checkbox"/> 十分良い <input type="checkbox"/> おおむね良い <input type="checkbox"/> やや悪い <input type="checkbox"/> 不十分	<p>研究の領域は重み配分 0.1 であることを考慮すると、著書、研究論文並びに学会参加・発表など多数の業績を出しておられると判断する。健康に関する論文、あるいは個人の専門領域の研究などバランスが取れている。</p>
5	国際交流・社会貢献の領域	<input type="checkbox"/> 十分良い <input checked="" type="checkbox"/> おおむね良い <input type="checkbox"/> やや悪い <input type="checkbox"/> 不十分	<p>社会貢献活動として、新聞への寄稿、新聞取材掲載記事、学内外でのメンタルヘルス初め健康に関する講演などを通して一般市民への啓蒙活動が十分行われている。しかし国際貢献活動は見当たらない。佐賀大学は多くの交流協定校を有するのでそれを利用して健康面で貢献するのも一方策である。</p>
6	組織運営の領域	<input type="checkbox"/> 十分良い <input checked="" type="checkbox"/> おおむね良い <input type="checkbox"/> やや悪い <input type="checkbox"/> 不十分	<p>結果的には学生並びに教職員の受診率も高く、そのフォローも行った健康管理データが得られている。それには学内の関係各課との連携協力がうまくいき、円滑な運営が行われたものと推測している。実際連携協力が取れていることは会議の場で判明した。</p> <p>組織運営を評価するための資料を揃える必要がある(方針、体制、業務の企画立案、諸委員会での課題とその対策等々)。</p>

7	施設の領域	<input checked="" type="checkbox"/> 十分良い <input type="checkbox"/> おおむね良い <input type="checkbox"/> やや悪い <input type="checkbox"/> 不十分	<p>消防用施設の点検(消火器の設置を初め消防用施設の点検や防災設備の定期点検など)は、規則に従い定期的に点検、立入検査などが行われている。医療廃棄物の処理に関しては、両キャンパスともマニュアルに従い十分なされている。健康管理センター職員の研修状況として、産業医としての研修、医療安全・院内感染症対策などの研修に参加され、健康管理・安全対策に努めておられる。</p> <p>評価のための資料を準備する必要がある。</p>
---	-------	--	--